Panasonic

コンパクトスクエア リモコン自己点検機能付

〈避難口／通路誘導灯（両用型）（電池内蔵型）〉

品番　FA44450　〔　A級　〕

取扱説明書

保管用

（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

- ●施工は、取付方法にしたがい確実に行う。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- ●器具に衝撃を与えたり、改造たりしない。　落下・感電・火災の原因となります。
- ●壁／天井直付、吊下専用。指定以外の取付はしない。　落下・感電・火災の原因となります。
- ●表示された電源電圧（定格電圧±6％）・周波数以外の電源で使用しない。　感電・火災の原因となります。
- ●蓄電池を短絡・分解などしない。　落下・感電・破裂・やけどの原因となります。

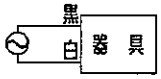
⚠注意

- ●一般屋内用器具。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の多い場所、海岸地域、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
- ●外の風が直接当たる場所では使用しないでください。　落下・破損の原因となります。
- ●周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。　蓄電池の劣化や火災、不点灯及び短寿命の原因になります。
- ●電源穴・取付穴を通じて外部から水気・湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴・取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。防水処理が不完全な場合、浸水による感電・火災の原因となります。

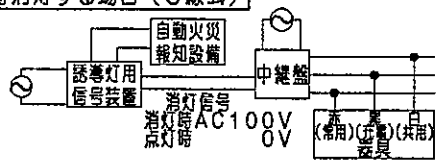
施工上のご注意

- ●この器具の電源は誘導灯専用回路としてください。
- ●この器具は常時連続点灯し使用してください。消灯する場合は自動火災報知設備との自動火災報知設備との連動が必要なため誘導灯信号装置を用いて消灯してください。
- ●電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

常時消灯しない場合の配線（2線式）



常時消灯する場合（3線式）

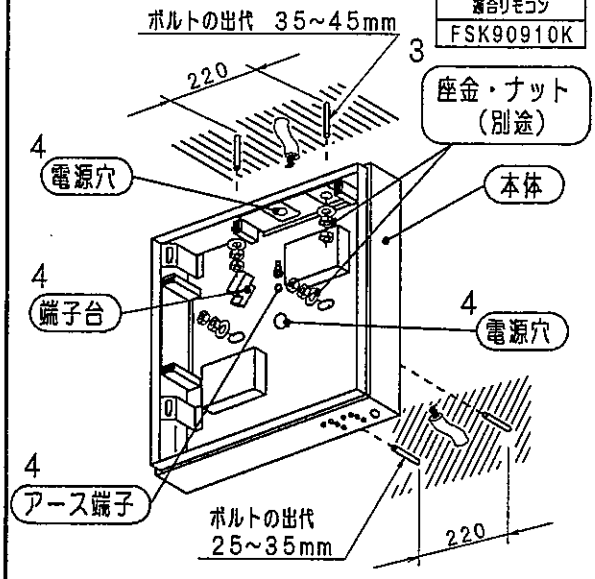


（器具の赤色短絡線を取外す）

各部のなまえと取付けかた

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

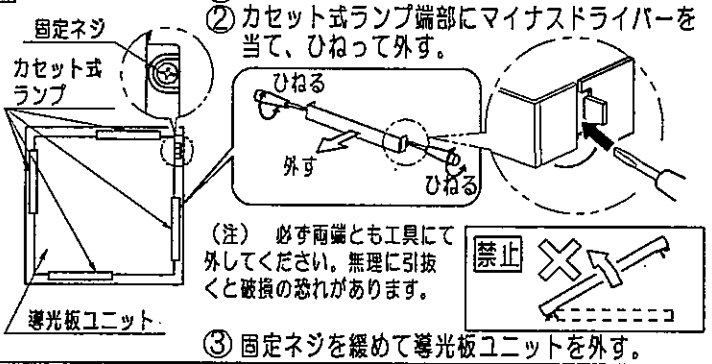
電源線・取付部より水の浸入がある場所では使用しないでください。
電源穴・取付穴を通じて外部から水気・湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴・取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。



適合表示板
FK04500　FK04506　FK04507　FK04508
FK04516　FK04517　FK04518

1 取付前の確認
・器具質量（8．7kg）に十分耐える様、ボルト取付部の強度を確保する。
・取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。
注）吊具を使用する場合は、適合吊具の取扱説明書を参照して下さい。

2 取付前の準備
① 側面の枠取付ネジ4本を外し、枠を外す。
② カセット式ランプ端部にマイナスドライバーを当て、ひねって外す。



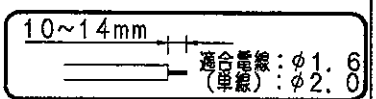
（注）　必ず両端とも工具にて外してください。無理に引抜くと破損の恐れがあります。

③ 固定ネジを緩めて導光板ユニットを外す。

3 本体の取付
① 本体の電源穴、取付穴のK．Oを開ける。
付属の電源ブッシングを電源穴に取付ける。
② 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込む。
③ 本体を取付座金・ナットで確実に取付ける。

安全に器具質量に耐えるため、ダブルナットを推奨します。
不備があると器具落下の原因となります。

4 電源線、アース線の接続
①電源線、アース線を確実に接続する。
②D種（第3種）接地工事が必要です。
③電源端子台の容量は20Aです。



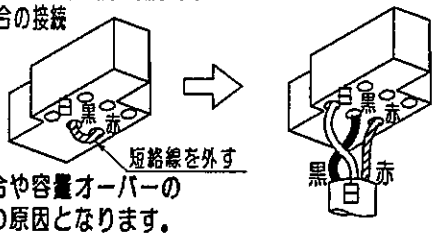
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。

取説No．FA44450-T2

各部のなまえと取付けかた（続き）

5 電源線、アース線の接続（続き）

・常時消灯する場合の接続



接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。

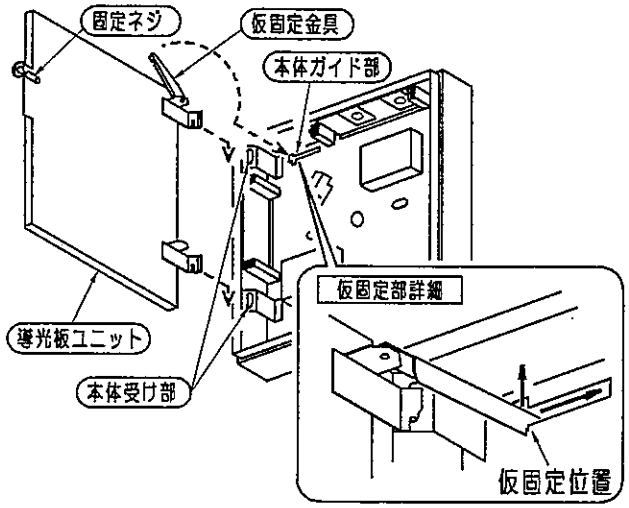
6 電池コネクタの接続

・コネクタを確実に接続する。

接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

7 導光板ユニットの取付け

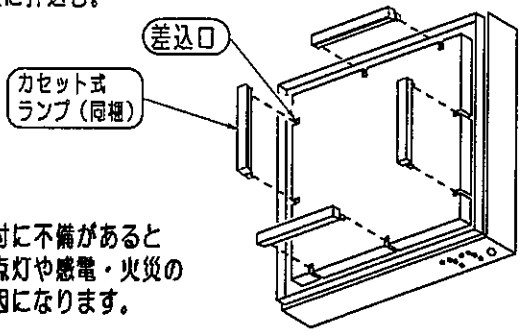
① 導光板ユニットの爪2点を本体受け部に確実に掛ける。
② 仮固定金具の先端を本体ガイド部の仮固定位置に挿入する。
※仮固定金具はややカをかけて反らせながら挿入してください。
③ 仮固定金具の先端を仮固定位置からやや持ち上げ、右にスライドさせながら導光板を閉じる。
④ 固定ネジを締付け、導光板ユニットを固定する。



不備があると導光板ユニット落下の原因となります。

8 カセット式ランプの取付

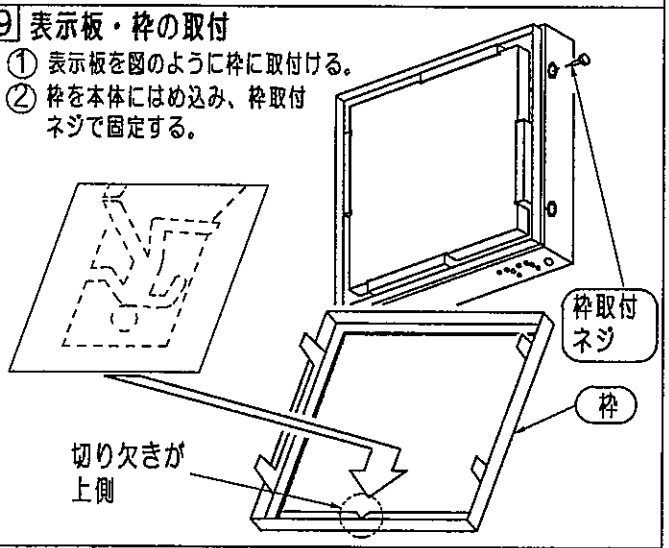
カセット式ランプを導光板4辺の差込口にはめ込み、確実に押込む。



取付に不備があると不点灯や感電・火災の原因になります。

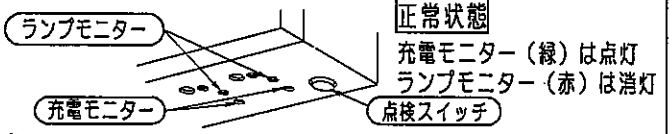
9 表示板・枠の取付

① 表示板を図のように枠に取付ける。
② 枠を本体にはめ込み、枠取付ネジで固定する。



10 点灯確認

①電源通電状態でランプおよび各モニターランプの状態を確認する。



② 電源通電状態で点検スイッチを押し非常点灯を確認する。
（点検中、充電モニター（緑）は消灯）

正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったときは」を参照してください。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

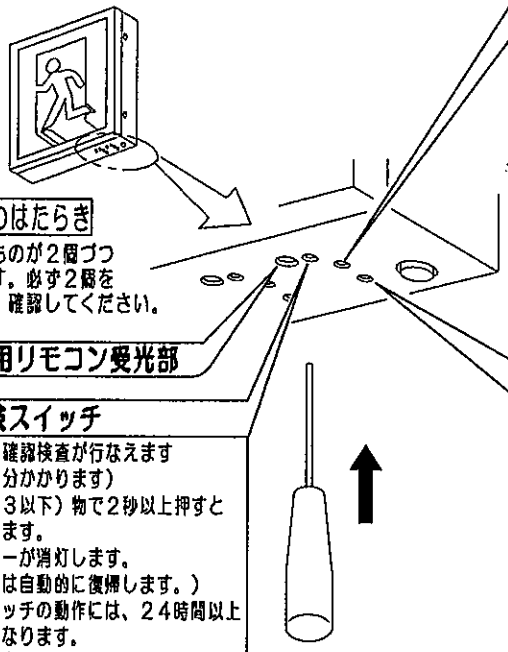
●器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

●アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
●カセット式ランプは絶対に分解しないでください。　感電の原因となります。
●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。　破裂する危険があります。
●蓄電池は絶対に分解しないでください。　感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池のショートは絶対にさけてください。　感電・火災・破裂・やけどの原因となります。
●長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。　蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
●照明器具には寿命があります。*1 3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

＊1　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意



モニターのはたらき

同じ機能のものが2個づつ付いています。必ず2個を同時に操作、確認してください。

自己点検用リモコン受光部

ランプモニター（赤）

ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。		点灯しない	正常です
		赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
		赤色点滅	ランプ交換時期の目安です。 ランプの点灯時間をカウントし、約6年半で赤色点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合		1秒間点滅（4回）	点検不可 （充電時間不足）

（注）ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

充電モニター（緑）

蓄電池の充電がなされているか確認できます。		緑色点灯	正常です
		点灯しない	蓄電池が充電されていません。 非常点灯になっていないか、または、 蓄電池コネクタが外れていないかを確認してください。
		緑色点滅	蓄電池の交換時期の目安です。 蓄電池の容量低下を緑点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合		1秒間点滅（4回）	点検可能 （24時間以上充電されている）

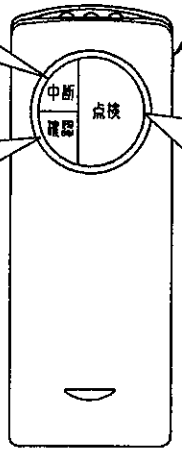
自己点検スイッチ

- 蓄電池の容量確認検査が行なえます（判定に20分かかります）
- 先の細い（φ3以下）物で2秒以上押すと検査を開始します。（充電モニターが消灯します。検査終了後は自動的に復帰します。）
- 自己点検スイッチの動作には、24時間以上充電が必要となります。（24時間以内に、3秒以上の非常点灯があった場合は動作しません。）

自己点検誘導灯用リモコンについて

適合リモコン品番：FSK90910（別売）

スイッチ各部の名称と働き



中断スイッチ
点検動作を中断し、常用点灯に復帰させるときに使用します。

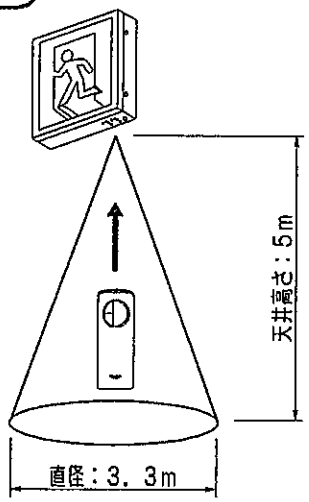
確認スイッチ
誘導灯器具が24時間の充電が完了しているかを確認するときに使用します。

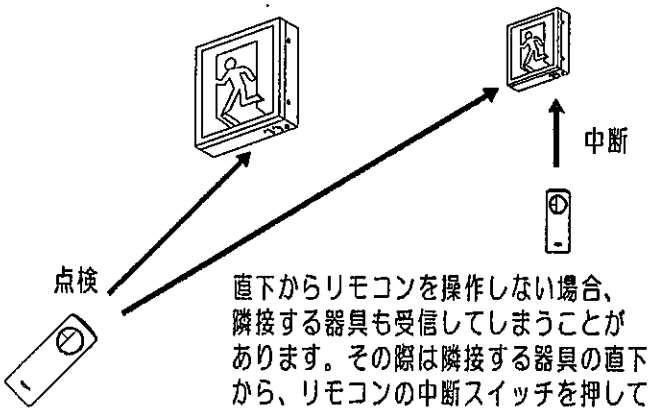
チャンネル
使用時、チャンネルは「1」にセットして下さい。
（使用しない時はチャンネルは「2」にセットして下さい。）

点検スイッチ
定格時間の非常点灯確認を開始します。
（器具本体の自己点検スイッチを押したときも同様です。）

リモコン操作エリアについて

リモコンを操作するときは点検する誘導灯器具の真下からリモコンを誘導灯器具に向けて送信してください。



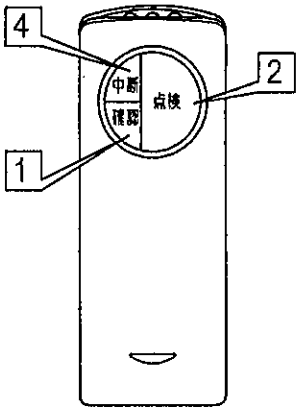


直下からリモコンを操作しない場合、隣接する器具も受信してしまうことがあります。その際は隣接する器具の直下から、リモコンの中断スイッチを押して点検を中断してください。

※中断した場合は、再度24時間充電が必要です。

使用上のご注意（続き）

リモコンによる点検方法



●チャンネルを「1」にセットして下さい。

1	リモコンの確認スイッチを押して下さい。
	【器具本体のモニターを確認してください】 ・充電モニター（緑）が1秒間点滅（4回） ⇒ 点検準備が出来ています。2に進んで下さい。 ・ランプモニター（赤）が1秒間点滅（4回） ⇒ 点検準備が出来ていません。24時間以上充電して下さい。
2	リモコンの点検スイッチを押して下さい。
	【器具本体のモニターを確認してください】 ・充電モニター（緑）が消灯（非常点灯に切り換ります。） ⇒ 3に進んで下さい。 2個のリモコン受光部のうち1方のみ信号を受信した場合、充電モニターは1方のみ消灯します。その際は、再度リモコンの点検スイッチを押し2個の充電モニターが消灯することを確認してください。 ※ リモコンの点検スイッチは何度押しても問題なく点検を継続します。
3	蓄電池の容量確認が行えます。（判定に最大20分かかります。）
	【器具本体のモニターを確認してください】 ・充電モニター（緑）が点灯 ⇒ 正常です。 ・充電モニター（緑）が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。
4	途中で点検を中断する場合、リモコンの中断スイッチを押して下さい。
	【器具本体のモニターを確認してください】 ・充電モニター（緑）が点灯（通常状態に戻ります。）

リモコンスイッチと器具状態の対応表

	器具の状態		
	充電中 （充電時間24時間未満）	充電完了状態 （充電時間24時間以上）	点検中
点検スイッチ	― （充電モニター（緑）が約0．5秒消灯し点灯に戻ります）	点検開始 （充電モニター（緑）点灯⇒消灯）	― （充電モニター（緑）消灯したまま）
中断スイッチ	― （充電モニター（緑）点灯したまま）	― （充電モニター（緑）点灯したまま）	点検中断 （充電モニター（緑）消灯⇒点灯）
確認スイッチ	ランプモニター（赤）1秒間点滅（4回）	充電モニター（緑）1秒間点滅（4回）	― （充電モニター（緑）消灯したまま）

―― の場合は充電・ランプモニターの状態に変化はありません。

お手入れ・部品交換

・器具の清掃について　・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。

・表示板の交換について　・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

ランプの交換方法

ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（約6年半毎）

（注）ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。
ランプは必ず4本を同時に交換してください。

交換部品	カセット式ランプ（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）
品　番	品番：FL9204013（品名：CF200T4EN/C1）

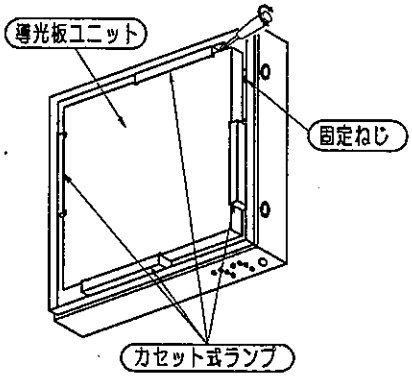
1 枠を外す

2 カセット式ランプを外す

カセット式ランプを工具（マイナスドライバ等）で片方ずつ外す

（注1）必ず左右とも工具にて外してください。
無理に引き抜くと破損の恐れがあります。

（注2）ランプ交換は電源通電状態で行なってください。

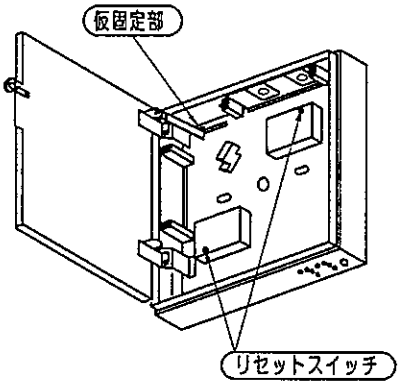


3 導光板ユニットを開く

固定ねじを緩め、導光板ユニットを右側から手前に開く。

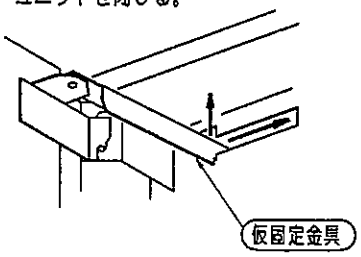
（注）"カチッ"と、音がするまで開いてください。
導光板ユニットが仮固定されます。

4 リセットスイッチを2秒以上押す



5 導光板ユニットを閉じる。

①仮保持金具を上に持ち上げて仮固定を解除し、右にスライドさせながら導光板ユニットを閉じる。



② 固定ネジを締付ける。

6 カセット式ランプ、枠を取付ける。

表示板の交換方法

枠を外して表示板を交換してください。
各部の名前と取付けかた　9　を参照ください。

蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても20分間非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

（注）電池は必ず2個を同時に交換してください。

交換部品	蓄　電　池
品　番	FK725　(4.8V600mAh)

1 枠を外す　**2** カセット式ランプを外し、導光板ユニットを開く（ランプの交換方法2・3を参照ください）

3 蓄電池を外す

4 新しい蓄電池を取付け、コネクタを確実に接続する。
接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

5 表示板を取付ける　**6** カセット式ランプを取付ける

7 点検スイッチを押す　（注）点検スイッチを押さないと点灯しません。

保証について

・保証について　・・・　この商品の保証期間は1年間です。ランプ・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について　・・　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

器具定格・接続図

接続図についてはブロックの銘板、定格については器具の銘板を参照ください。

◆定期点検　3ケ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ケ月に1回は、必ず非常点灯持続時間（20分間以上）、切替動作などの機能点検を合わせて行なってください。
（点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。）

◆設置年月日　　年　月　日　◆取付場所　　◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

・表にしたがってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	点検スイッチを押す。（それでも点灯しない場合は、リセットスイッチを2秒以上押す）
	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを2秒以上押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを2秒以上押す。
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている。	通電側にする。
表示面が点滅する	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続する。
	ランプが4本ともついていない。	ランプを4本とも取り付ける
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない。	2秒以上押す。
	24時間以上充電していない。	24時間以上充電する。
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
リモコンの点検スイッチが動作しない	24時間以上充電していない。	24時間以上充電する。
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
表示面が暗い	周囲温度5～35℃の範囲外である。	5℃以下の場合暗くなる。
充電モニターが点灯しない	蓄電池が外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
ランプモニタが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを2秒以上押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを2秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
非常点灯しない 短時間しか点灯しない（20分未満）	蓄電池が外れている。	蓄電池を確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	24時間以上充電する。
	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
非常点灯中に20分以上点灯後突然消灯する	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。正常な動作です。	

Ni-MH　この器具は、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニッケル水素電池の交換及び使用済製品の廃棄に際してはニッケル水素電池を取り出しリサイクルへご協力ください。

パナソニック電工株式会社　施設・屋外照明事業部　〒571－8686　大阪府門真市門真1048

N0608-020609